

## カリキュラムの概要書

講座 No.	K03-1	講座名	介護福祉士養成	定員	5人
対象者	介護福祉士国家試験合格及び社会福祉分野での正規社員就職を考えている方				
修了の要件	卒業をもって訓練修了とするもの				
講座内容	厚生労働大臣指定の介護福祉士養成カリキュラムを中心に、専門的知識と技術及び心の全てを持ち合わせた人材を養成し、国家試験合格を目指します。また、継続した就職支援を展開することで、社会福祉分野での就職を確実なものにします。				
実施施設	学校法人大原学園 大原医療秘書福祉専門学校大宮校				
所在地	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-61-1				
連絡先電話	048-631-1577				
最寄駅	JR・東武・埼玉新都市交通 各線 大宮駅 東口 徒歩 5分				
訓練期間	令和3年4月7日(水) ~ 令和5年3月9日(木) [予定]				
訓練時間	午前 9時30分 ~ 午後 5時00分 (90分 1 時限 : 1日最大4時限)				
自己負担額	テキスト45,000円程度(2年間分)学校行事・イベント、就職関連費用等6,700円程度(資格受験料除く)				
オンライン授業の有無	状況により実施。機材(パソコンやスマートフォン等・通信に係る費用は自己負担。				
修了で得られる資格	介護福祉士国家試験受験資格、専門士(教育社会福祉専門課程)				
受講で目指せる資格	レクリエーション・インストラクター(登録料 17,600円)				
目標とする人材像	介護福祉士として必要な専門的知識・技術・心の全てを持ち合わせた介護福祉士を目指し、国家試験合格及び介護福祉分野での就職を目指します。				
修了後の関連職種	介護職員、介護従事者、介護従業者、支援員、生活支援員、介助員、訪問介護員、訪問支援員、看護助手、看護補助者				

		科目	教科	内容	時限数
1 年 次	学 科 ・ 演 習	人間と社会	人間の理解Ⅰ	介護を受ける人の尊厳を守ることの意義や、自立・自律した生活を支える必要性や生活モデルを基盤とした生活支援の必要性について学ぶ	15
		人間と社会	人間の理解Ⅱ	介護を受ける人の尊厳を守ることの意義や、自立・自律した生活を支える必要性や生活モデルを基盤とした生活支援の必要性について学ぶ	30
		人間と社会	社会の理解	社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、仕組みについて学ぶ	30
		介護	介護の基本Ⅰ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	介護の基本Ⅱ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	介護の基本Ⅲ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	介護の基本Ⅳ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	介護の基本Ⅴ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	介護の基本Ⅵ	介護の意義と役割及び専門性、ケアマネジメントや職業倫理等を学ぶ	15
		介護	コミュニケーション技術Ⅰ	利用者や家族、他の専門職とのコミュニケーションの意義と目的を理解し、具体的な技法の習得を学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	認知症の理解	認知症のケアの歴史や理念を学ぶとともに、認知症の症状や行動障害等について学ぶ	30
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	人間のこころとからだのしくみを理解し、より質の高いサービスの仕方について学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅡ	人間のこころとからだのしくみを理解し、より質の高いサービスの仕方について学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅢ	人間のこころとからだのしくみを理解し、より質の高いサービスの仕方について学ぶ	15
2 年 次	学 科 ・ 演 習	人間と社会	レクリエーション基礎	レクリエーションの発展過程を見据えながら目標と理念、レクリエーションの展開方法などを学ぶ	15
		人間と社会	人間と社会の総合	介護実習にて得た現場経験を基に、介護福祉士として必要な資質を総まとめする	15
		介護	コミュニケーション技術Ⅱ	利用者や家族、他の専門職とのコミュニケーションの意義と目的を理解し、具体的な技法の習得を学ぶ	15
		介護	福祉住環境Ⅰ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	人間が生まれてから高齢になるまでの過程を理解し、加齢に伴う障害や疾病について学ぶ	30
		こころとからだのしくみ	障害の理解	障害を持っている人と持っていない人の違いを理解するとともに、障害の捉え方や、ICF、様々な障害の種類と原因、特性について学ぶ	30
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅣ	人間のこころとからだのしくみを理解し、より質の高いサービスの仕方について学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみの総合	介護実習にて得た現場経験を基に、介護福祉士として必要な資質を総まとめする	15
		医療的ケア	医療的ケア	医療職との連携のもとで医療的ケア(喀痰吸引・経管栄養)を安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する	34

主なカリキュラム	実技・実習	1年次	介護	生活支援技術の基本	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	30
			介護	日常生活介護Ⅰ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15
			介護	日常生活介護Ⅱ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15
			介護	日常生活介護Ⅳ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15
			介護	介護過程Ⅰ	質の高いサービスを提供するためには、その意義、目的、目標を明確にして計画することを学ぶ	15
			介護	介護総合演習Ⅰ	介護実習に向けての構え、予備知識、動機づけ等の準備	20
			介護	介護総合演習Ⅱ	介護実習に向けての構え、予備知識、動機づけ等の準備	20
			介護	介護実習Ⅰ	利用者の需要と介護の機能、並びに施設職員の一一般的な役割について学ぶ	60
			介護	介護実習Ⅱ	重度生活障害を有する障害者又は老人の施設を実習施設とし、障害レベルに応じて求められる介護技術の適正な用い方について学ぶ	80
			人間と社会	レクリエーション指導	ホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングとは何かを理解して、コミュニケーション能力と促進方法を身につける	20
		人間と社会	社会常識	社会人としての心構えをはじめ、個人または集団での仕事の進め方、報告連絡相談の必要性を学ぶ	15	
		人間と社会	情報科学演習	存のソフトウェアを使用し、各種データ集計や統計処理について学ぶ	15	
		介護	家事介護	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15	
		介護	日常生活介護Ⅲ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15	
		介護	日常生活介護Ⅴ	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15	
		介護	利用者の状態・状況に応じた介護技術	自立支援に向けた実践方法について学ぶ	15	
		介護	介護過程Ⅱ	質の高いサービスを提供するためには、その意義、目的、目標を明確にして計画することを学ぶ	30	
		介護	介護過程Ⅲ	質の高いサービスを提供するためには、その意義、目的、目標を明確にして計画することを学ぶ	30	
		介護	介護総合演習Ⅲ	介護実習に向けての構え、予備知識、動機づけ等の準備	20	
	介護	介護実習Ⅲ	施設運営プログラムに参加し、サービス全般について理解すると同時に個別の介護過程の展開、記録の方法について学ぶ	88		
	介護	介護の総合	介護実習にて得た現場経験を基に、介護福祉士として必要な資質を総まとめする	45		
	医療的ケア	医療的ケア	医療職との連携のもとで医療的ケア(喀痰吸引・経管栄養)を安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する	19		
		学習評価	定期試験	中間試験、期末試験、卒業試験、成績発表の登校日等	31	
			科目登録等ガイダンス	科目登録等ガイダンス日、次年度クラス発表等	4	
	学校行事等	1年次	新入生歓迎会	新入生と在校生の親睦会		
			大宮夏祭り	大宮夏祭り		
			スポーツフェスティバル	運動会		
		2年次	新入生歓迎会	新入生と在校生の親睦会		
			スポーツフェスティバル	運動会		
			学生親睦会	校内学生との親睦		
	就職支援	一般常識	漢字/国語/就職模擬試験		15	
就職支援Ⅰ		就職の心構え/自己分析・自己PR作成/就職活動の方法等		15		
就職支援Ⅱ		就職活動のスケジュール方法/福祉就職フェアへの参加と準備/必要書類の作成/面接トレーニング/内定後の対応方法		15		
国家試験対策		国家試験受験に向けての講義及び問題演習		30		
キャリアコンサルティング		キャリアコンサルティング		8		
		入校式・オリエンテーション	入校式・オリエンテーション	2		
		ガイダンス・修了式	ガイダンス・修了式	2		
			総時限数	1173		
			総時間数	2346		